

# 平成 28 年度日野町少年センター活動報告

## ○街頭補導活動

- (1) 非行少年の早期発見、早期指導、少年の街頭における活動実態の把握、少年をとりまく社会環境の浄化等を目的に、少年補導委員と少年センター職員が合同で青色パトロール車による巡回指導を54回延べ241人で実施した。  
少年が好んで集まる場所、不良行為を誘いやすい場所といわれる量販店を重視し、小学生13人、中学生56人、高校生29人、無職少年1人に愛の声かけを行った。
- (2) 少年センター独自の活動として、小学校下校時の通学路で「愛の声かけとマナーの呼びかけ」のパトロールを延べ50回実施した。
- (3) 夏、秋に開催された「氏郷まつり」で少年補導委員と合同でパトロールを実施した。
- (4) 中央地区高等学校生徒指導連絡協議会の街頭補導活動（近江鉄道八日市駅前）や7月の青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間、11月の滋賀県子ども・若者育成支援強調月間の一斉啓発活動や巡回活動に参加した。

## ○環境浄化活動

- (1) 少年の健全育成を阻害すると認められる有害図書等を取り扱う書店、コンビニ店舗等に対して、毎月1回の立入調査を実施した。
- (2) 日野駅に設置してある白ポストの有害図書回収を行ったが有害図書はなかった。（駅舎改築に伴い現在休止中）
- (3) 刃物取扱店および量販店（7店舗）について、条例確認の有無や年齢確認の状況などについての調査を行った。
- (4) 日野ライオンズクラブの協力を得て、桜谷小学校5、6年生、南比都佐小学校6年生に薬物乱用防止教室を実施した。

## ○広報啓発活動

- (1) 非行防止の取り組みや情報、少年補導委員の活動状況等の記事を掲載した「少年センターだより」を5月26日、9月1日、12月1日、3月1日に発行し新聞折り込みで全戸配布した。

- (2) 「氏郷まつり“楽市楽座2016”」において、薬物の乱用防止や少年の非行防止の啓発を実施した。今年度は、薬物乱用防止のクイズに答えてシューティングゲームを楽しんでいただいたり、熊の着ぐるみによる啓発グッズ配布(500個)など工夫を凝らして実施した。
- (3) 少年補導委員会が作成したペープサートを活用して日野小学校1、2年生、さくらだに幼児園児に防犯教室を実施した。

#### ○相談活動

総相談件数は電話相談を含め延べ413回(50人)であった。

- (1) 中学生の来所相談は延べ244回(28人)で、相談内容は、家庭のこと、三者懇談のこと、学校生活のこと、友人のこと、進路のことなどが多かった。
- (2) 高校生の来所相談は延べ112回(11人)で、主な相談内容は、進路のこと、家庭のこと、友人のこと、勉強のこと、アルバイトのこと、クラブ活動のことなどが多かった。
- (3) 就労相談は延べ27回(4人)で、無職少年にはハローワークと連絡を取りながら就労支援を進めたがいずれも高校を卒業していないためアルバイト職などしかなく無職少年にとっては大変厳しい状況であった。

#### ○高等学校等訪問

- (1) 中学校卒業後の生徒の状況を把握するため、9月から10月に日野高校をはじめ、東近江市、甲賀市、湖南市、草津市、大津市の高等学校等を訪問し、日野町内より通学している生徒の在籍状況等を聞き取った。  
高校では中学校とは違う先生との出会いや、新たな友達との出会いでまじめにクラブ活動や勉学に取り組んでいる生徒がいる反面、中には出席状況が悪い生徒、すでに退学をしている生徒、家庭謹慎を受けている生徒もいた。
- (2) 中学校、高等学校との連携を密にし、不登校生徒の把握や中途退学生生の把握に努め、関係機関との緊密な連携のもとに、相談活動を進め、就労等の実現に努めていきたい。

#### ○関係機関との連携

- (1) 日野町防犯自治会、日野町青少年育成町民会議、社会を明るくする運動、学校・子ども支援連絡協議会、東近江健康福祉事務所主催の学習支援事業をはじめとしての関係機関主催の会議、研修会等の行事に参加した。